

北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 13 号 (通巻 No. 177)

2004 年 8 月 30 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

◎道東沿岸～オホーツク海スルメイカ資源調査結果

- ・調査期間：2004 年 8 月 17 日～8 月 27 日
- ・調査海域：道東太平洋沿岸域、根室海峡～オホーツク海 (図 1)
- ・調査船：北辰丸 (釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

- ・道東沿岸：スルメイカは低密度で、
大きさは大型。
- ・根室海峡：スルメイカはまだ低密度。
- ・オホーツク海：スルメイカの分布は確認できず。

1. スルメイカ分布密度 (図 1, 図 2)

道東太平洋では、調査を行った 7 調査点の平均 CPUE (2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 0.86 で、昨年 (8.68) を大きく下回り、近年 10 年

でも低い水準でした。最も高い CPUE は昆布森沖の 2.57 でした。

根室海峡では 2 調査点で調査を行い、1 調査点でスルメイカが漁獲されました。漁獲のあった調査点の CPUE は 0.25 と低くなっていました。

オホーツク海で調査をおこなった 4 調査点では、スルメイカは漁獲されませんでした。

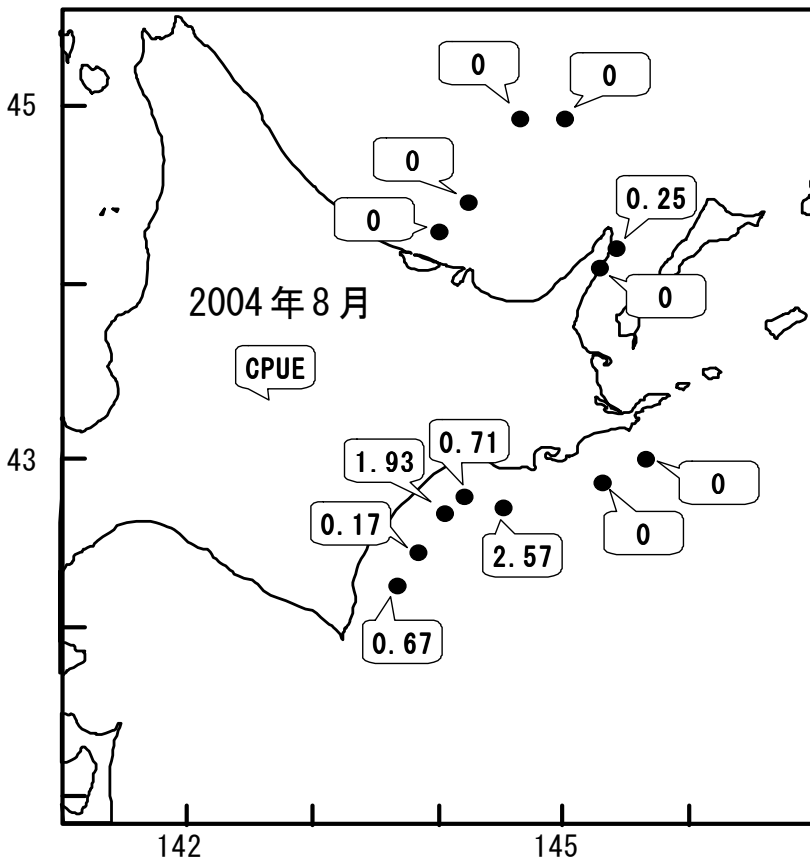


図 1 道東太平洋～オホーツク海におけるスルメイカの分布密度 (CPUE : 自動イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数)

2. スルメイカの大きさ (図 3)

道東太平洋の調査点でのスルメイカの外套長 (胴長) は、18～25cm でした。外套長組成のモード (最も多く漁獲されたイカの大きさ)

は22cmで、昨年(18cm)よりも大型になっていました。

根室海峡で漁獲されたスルメイカの外套長は16~20cmでした。

3. 水温分布

道東太平洋の表面水温は15.7~20.6℃(昨年:11.3~16.0℃), 深度50m層の水温は3.3~13.3℃(昨年:2.8~4.0℃)でした。表面, 50m層ともに昨年より高い傾向がありました。

根室海峡の表面水温は17.1~19.0℃(昨年:15.2~16.1℃), 深度50m層の水温は13.7~17.5℃(昨年:11.4~12.8℃)で、やはり昨年よりも高い傾向がありました。

オホーツク海の表面水温は11.8~19.7℃(昨年:12.6~18.1℃), 深度50m層の水温は-0.6~8.3℃(昨年:-0.3~14.5℃)でした。

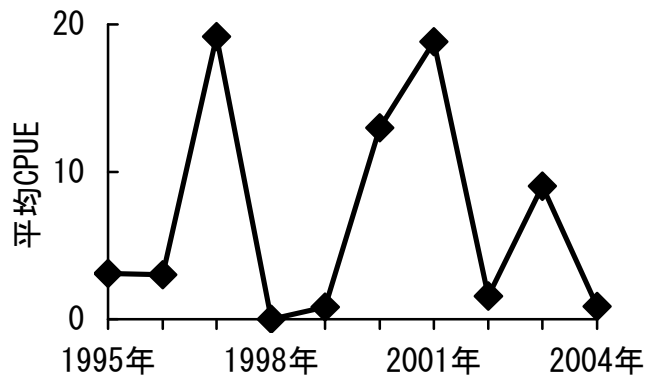


図2 道東太平洋の8月におけるスルメイカの分布密度の経年変化

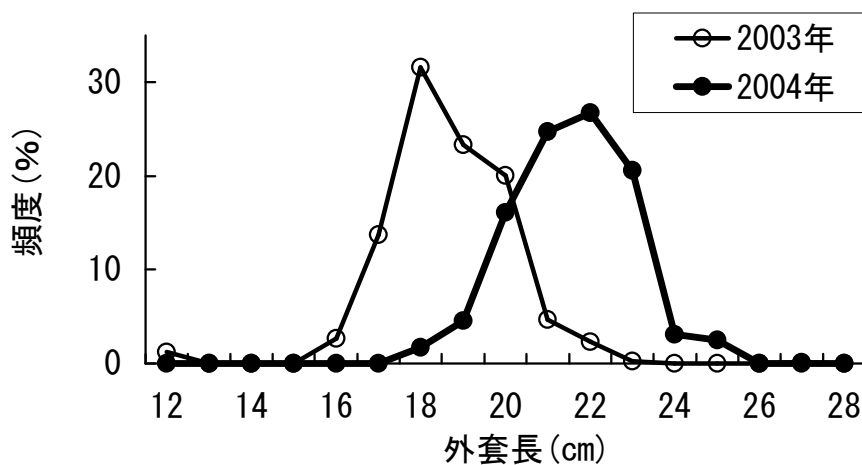
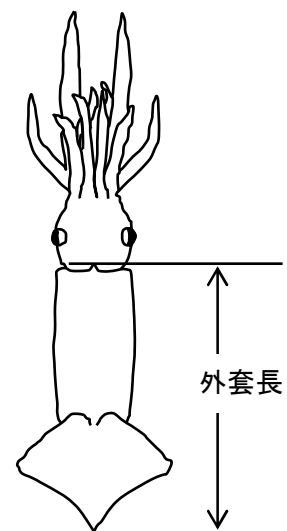


図3 道東太平洋で8月に漁獲されたスルメイカの外套長組成



○今回の調査結果を含め、各研究機関の調査結果を基にして、第2次スルメイカ漁況予報が発表されます。

(文責：釧路水産試験場資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)